

特許情報は同時に開発動向を示唆する重要なテクノロジー情報でもあります

ガイドブックシリーズのねらい

この“ガイドブックシリーズ”では、技術テーマを絞り、特許情報から見た最新のテクノロジー情報をお届けすることをねらいとしています。

編集方針は、絞り込まれた特定の技術テーマに対して下記を意図しております。

- ・最近の出願技術を知る
- ・最近の出願課題を知る
- ・最近の出願企業を知る
- ・自己の課題の相対的位置を知る
- ・発明の出願形態(書き方、内容)を知る

★特許情報は技術者・研究者に役立つテクノロジー情報です
最近の研究開発の成果が反映されたテクノロジー情報です。競合各社の技術者・研究者も、開発に携わる皆様と同じ技術テーマについて、直面する課題や対応技術に取り組んでいます。特許情報は、それぞれが得意とする技術や注力度合い、目指す技術的方向を反映する信頼度の高い技術情報です。

★ガイドブックシリーズでは
特定テーマについて実際の製品開発や改良研究を行っている企業第一線の技術者や研究者を読者として想定しています。直近数年の特許出願に限り、技術テーマを具体的に絞り込んだうえで、特許・技術の双方をみわたすガイドとなる典型例を、各巻ごとに100～200件程度、掲載しました。

各巻では、全体を見渡すガイドマップを巻頭に示し、平明でわかりやすい技術的観点に従った分類に分けて、それぞれのセクションには、できるだけ多くの特許情報を掲載するように工夫しています。また、巻末には、参考情報として本書が使用した検索式と収録した特許情報の一覧表を掲載しています。

技術と特許の双方にわたる実戦的ガイドブックとして、本書をご活用ください。

材料

(51) Int. Cl.	テ-マコード' (参)	F I	(21)特願2005-5349
G02B 5/02 (2006.01) 2H042		G02B 5/02 B	
G02F 1/1335 (2006.01) 2H091		G02F 1/1335	(22)平成17年(2005)1月12日
G02F 1/13357 (2006.01)		G02F 1/13357	優(31)特願2004-6295
			先(32)平成16年(2004)1月14日
			権(33)日本国(JP)
			優(31)特願2004-129890
			先(32)平成16年(2004)4月26日
			権(33)日本国(JP)

【 F タ-ム】 2H042 AA03 AA06 AA26 BA01
BA02 BA08 BA12 BA15
BA20

[続きあり]

(71)出願人 住友ベークライト株式会社 東京都品川区東品川2丁目5番8号
(72)発明者 丸山 豊太郎 (外2名)

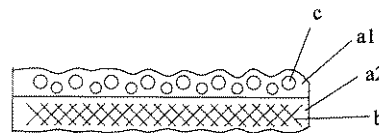
(54)【発明の名称】光拡散シートおよび液晶ディスプレイ用バックライト

(57)【要約】

【課題】 耐熱性および寸法安定性に優れ、また他の光学部材の性能を低下させることのない、表示品位に優れた光拡散シートを提供する。

【解決手段】 少なくとも透明樹脂 (a) およびガラス繊維 (b) からなる光拡散シート。あるいは、少なくとも透明樹脂 (a)、ガラス繊維 (b)、および微粒子 (c) からなる光拡散シート。透明樹脂 (a) が反応性モノマーを硬化させてなる硬化性樹脂であることが好ましい。また、反応性モノマー (d) は、(メタ)アクリルロイル基またはエポキシ基を有することが好ましく、ガラス繊維 (b) がガラスクロスであることが好ましい。

【選択図】 図4



【技術分野】

【 0 0 0 1】

本発明は、耐湿、耐熱性に優れた光拡散シートおよび液晶ディスプレイ用バックライトに関する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも透明樹脂 (a) およびガラス繊維 (b) からなる光拡散シート。

【請求項2】

少なくとも透明樹脂 (a)、ガラス繊維 (b)、および微粒子 (c) からなる光拡散シート。

【請求項3】

微粒子 (c) が少なくともシートの片面側の表面近傍に

存在する請求項2記載の光拡散シート。

【請求項4】

ガラス繊維 (b) がガラスクロスである請求項1 ~ 3何れか一項記載の光拡散シート。

【請求項5】

透明樹脂 (a) が反応性モノマー (d) を硬化させてなる硬化性樹脂である請求項1 ~ 4何れか一項記載の光拡散シート。

【請求項6】

透明樹脂 (a) が屈折率の異なる2種以上の反応性モノマー (d) を含む組成物を硬化させてなる請求項1 ~ 4何れか一項記載の光拡散シート。

【請求項7】

反応性モノマー (d) が、(メタ)アクリルロイル基を

[続きあり]

審査請求 未請求 請求項の数3 O L

(全13頁)

(43)公開日 平成18年(2006)5月18日

(51) Int.Cl.	テ-マコード' (参)	F I	(21) 特願2005-287028
G02B 5/02 (2006.01) 2H042		G02B 5/02 B	
G02F 1/13357 (2006.01) 2H091		G02F 1/13357	(22) 平成17年(2005)9月30日
F21V 8/00 (2006.01)		F21V 8/00 601 A	優(31) 特願2004-286624
F21Y 103/00 (2006.01)		F21Y 103:00	先(32) 平成16年(2004)9月30日
			権(33) 日本国(IP)

【 F タ-ム 】 2H042 BA02 BA14 BA20
2H091 FA32Z FB02 FB12 FD07
FD14 FD22 GA16 LA11



[続きあり]

(71) 出願人 大日本インキ化学工業株式会社
(72) 発明者 高島 正直 (外3名)

東京都板橋区坂下3丁目3番58号

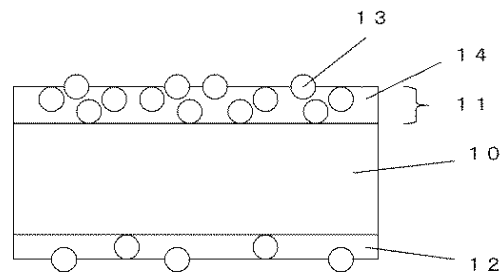
(54) 【発明の名称】 光拡散フィルム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 十分な光拡散性を有し、かつ加工工程において傷付きにくい光拡散フィルムを提供する。

【解決手段】 透明なシート状基材 10 の少なくとも一方の面に光拡散材 13 および樹脂バインダー 14 を含有する光拡散層 11 が設けられ、光拡散材は、アクリルウレタン樹脂微粒子を必須とし、樹脂バインダーは、水酸基を持ったアクリルモノマーを必須成分としたアクリル樹脂をポリイソシアネートで架橋した。

【選択図】 図2



7

【技術分野】

【0001】

本発明は光拡散性を有するフィルム、特に、液晶ディスプレイ装置のバックライトユニットの構成部品として用いられる光拡散フィルムに関する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】

透明なシート状基材の少なくとも一方の面に光拡散材および樹脂バインダーを含有する光拡散層を有する光拡散フィルムであって、前記光拡散材は、アクリルウレタン樹脂微粒子を含有し、かつ前記樹脂バインダーは、水酸基を持ったアクリルモノマーを共重成分として含むアクリル樹脂を、ポリイソシアネートで架橋したものであ

ること特徴とする光拡散フィルム。

【請求項2】

前記アクリル樹脂における水酸基価が25以上であることを特徴とする、請求項1に記載の光拡散フィルム。

【請求項3】

前記ポリイソシアネート中のイソシアネートの前記水酸基に対する当量比が、0.7~3.0である請求項1または2に記載の光拡散フィルム。

製法

(51) Int.Cl.		テ-マコード' (参)	F I			(21)特願2004-237078
G02B	5/08	(2006.01) 2H042	G02B	5/08	C	
G02B	5/02	(2006.01) 2H090	G02B	5/02	C	(22)平成16年(2004)8月17日
G02F	1/1333	(2006.01) 2H091	G02F	1/1333	500	
G02F	1/1335	(2006.01)	G02F	1/1335	520	

【 F タ-ム 】 2H042 BA04 BA12 BA15 BA20
DA01 DA11 DA14 DA17
DA22 DC02 DC03 DE00



[続きあり]

(71)出願人 セイコーエプソン株式会社
(72)発明者 大竹 俊裕

東京都新宿区西新宿 2 丁目 4 番 1 号

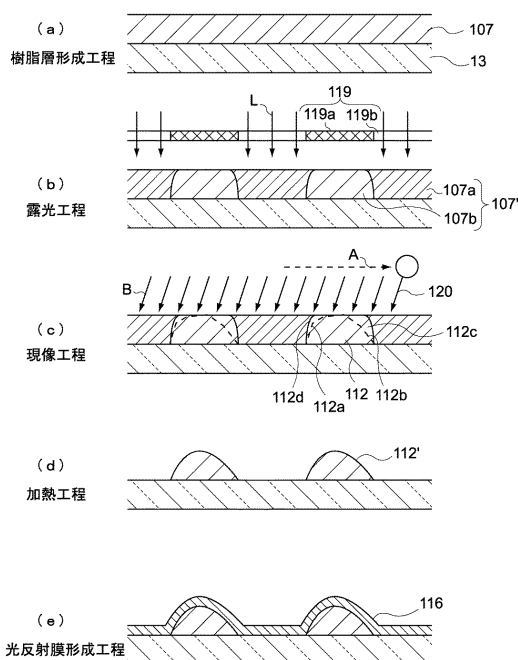
(54) 【発明の名称】 電気光学装置用基板の製造方法および電気光学装置の製造方法

(57) 【要約】

【課題】 適度な光散乱性および光指向性を有する光反射膜を備えた電気光学装置用基板が、簡易な製造工程によって、容易かつ精度良く得られる電気光学装置用基板の製造方法および電気光学装置の製造方法を提供する。

【解決手段】 電気光学装置用基板の基板上に、現像液が供給される所定方向に対して直交する想定中心線を境とした分割形状が非対称となるように凹凸パターンが形成された樹脂層が設けてあり、さらにその上に光反射膜が形成してある電気光学装置用基板の製造方法およびそのような電気光学装置用基板を利用した電気光学装置の製造方法であって、電気光学装置用基板の基板上に、感光性材料を積層して樹脂層を形成する工程と、樹脂層に対して、フォトマスクを介して、パターン露光を実施する工程と、樹脂層に対して、現像液を所定方向から供給しながら凹凸パターンを形成する工程と、凹凸パターンを有する樹脂層上に、光反射膜を形成する工程と、を含む。

【選択図】 図 1



【技術分野】

【 0 0 0 1 】

本発明は、電気光学装置用基板の製造方法および電気光学装置の製造方法に関する。

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電気光学装置用基板上に設けられ、非対称な凹凸パターンが形成された樹脂層と、当該樹脂層上に形成された光反射膜とを備える電気光学装置用基板の製造方法であって、前記電気光学装置用基板上に、感光性材料からなる樹脂層を形成する工程と、前記樹脂層に対して、フォトマスクを介して、パターン露光を実施する工程と、前記樹脂層に対して、ノズルから現像液を滴下しながら、当

該ノズルと前記電気光学装置基板とを所定方向に相対的に移動させて現像を行い、前記凹凸パターンを形成する工程と、前記凹凸パターン上に、光反射膜を形成する工程と、を含むことを特徴とする電気光学装置用基板の製造方法。

【請求項 2】

前記現像液を前記所定方向から供給した後、10～180秒間、前記基板を静置することを特徴とする請求項1に記載の電気光学装置用基板の製造方法。

【請求項 3】

前記現像液を前記所定方向から供給する際に、一列に並んだ複数の前記ノズルから前記現像液をカーテン状に滴下しながら、前記ノズルを前記所定方向に走査することを特徴とする請求項1または2に記載の電気光学装置用

[続きあり]

審査請求 未請求 請求項の数36 O L

(全20頁)

(43)公開日 平成18年(2006)5月11日

(51) Int.Cl.	テ-マコード' (参)	F I
G02B 5/02 (2006.01) 2H042	G02B 5/02	C
G02F 1/1333 (2006.01) 2H089	G02F 1/1333	
G02F 1/1335 (2006.01) 2H091	G02F 1/1335	
G02F 1/13357 (2006.01)	G02F 1/13357	
F21S 2/00 (2006.01)	F21S 1/00	E

(21)特願2004-370520

(22)平成16年(2004)12月22日
優(31)2004-084130
先(32)平成16年(2004)10月20日
権(33)韓国(KR)

【Fターム】2H042 BA04 BA05 BA13 BA15
BA20
2H089 JA10 QA16 TA01 TA02



[続きあり]

(71)出願人 サムスン エレクトロニクス カンパニー*
(72)発明者 朴 辰 赫 (外4名)

大韓民国キョンギ-ド, スウォン-シ, ヨントン-ク,*

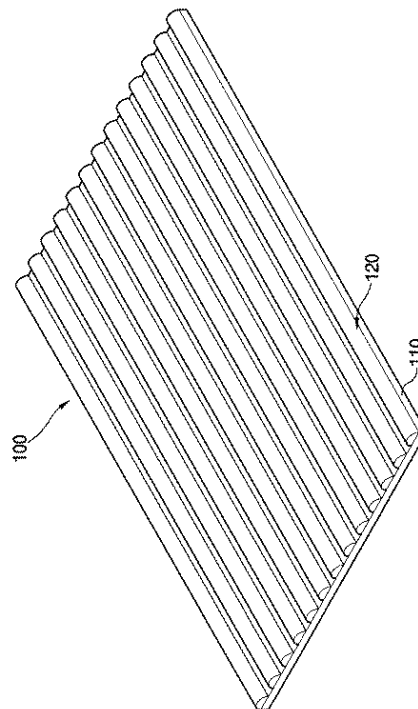
(54)【発明の名称】拡散シート、これの製造方法及びこれを有する液晶表示装置。

(57)【要約】

【課題】 拡散シート、これの製造方法及びこれを有する液晶表示装置を提供する。

【解決手段】 拡散シートは、透明な材質のベースフィルムと、長さ方向に垂直な切断面がアーチ形状である複数の拡散部からなる拡散パターンを有する拡散層と、を含む。拡散シートの製造方法は、ベースフィルムを準備する段階と、ベースフィルムの一面に拡散パターンを有する拡散層を形成する段階と、を含む。拡散層を形成する段階は、マスターフィルムが巻かれたローラーを準備する段階、ベースフィルムにコーティング液を塗布する段階、ベースフィルムに塗布されたコーティング液をローラーでパターンニングして拡散パターンを形成する段階、及び拡散パターンを硬化させる段階を含む。従って、光の輝度を向上させ、製造コストを節減することができる。

【選択図】 図1



【技術分野】

【0001】

本発明は、拡散シート、これの製造方法及びこれを有する液晶表示装置に関し、さらに詳細には入射された光を拡散させ出射する拡散シート、これの製造方法及びこれを有する液晶表示装置に関する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】

透明な材質のベースフィルムと、前記ベースフィルムの一面に形成され、所定の長さを有すると共に長さ方向に垂直な切断面がアーチ形状である複数の第1拡散部からなる拡散パターンを備える拡散層と、を含む拡散シート。

【請求項2】

前記各第1拡散部は、互いに平行であることを特徴とする請求項1記載の拡散シート。

【請求項3】

前記拡散パターンは、長さ方向に垂直な切断面が三角形状である少なくとも一つの第2拡散部をさらに含むことを特徴とする請求項1記載の拡散シート。

【請求項4】

前記第2拡散部は、前記第1拡散部の間に形成されることを特徴とする請求項3記載の拡散シート。

【請求項5】

前記第1拡散部及び前記第2拡散部は、互いに平行であることを特徴とする請求項4記載の拡散シート。

【請求項6】

[続きあり]

構造

審査請求 未請求 請求項の数5 O L

(全15頁)

(43)公開日 平成17年(2005)12月8日

(51)Int.Cl.⁷ テーモコード^{*}(参) F I
 F21S 2/00 2H091 F21S 1/00 E
 F21V 8/00 5C043 F21V 8/00 601 D
 G02F 1/13357 G02F 1/13357
 H01J 61/42 H01J 61/42 N
 // F21Y 103:025 F21Y 103:025

(21)特願2004-153769

(22)平成16年(2004)5月24日



【Fターム】2H091 FA14Z FA23Z FA32Z FA42Z
 FD03 FD24 LA18
 5C043 AA04 BB04 CC09 CD10

[続きあり]

(71)出願人 松下電器産業株式会社
 (72)発明者 山下 博文(外2名)

大阪府門真市大字門真1006番地

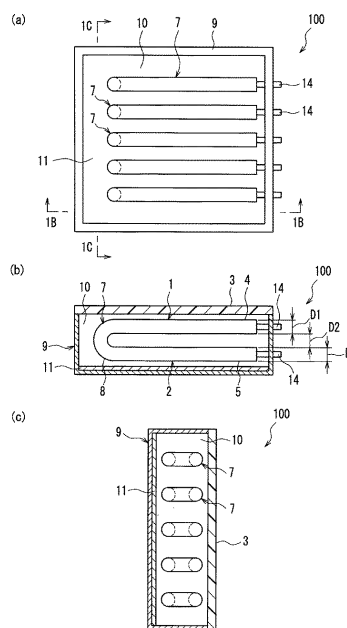
(54)【発明の名称】照明装置

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 色むらを低減できる光を照射する照明装置を提供する。

【解決手段】 照明装置100は、ランプハウス9の開口部10内に収納されたU形蛍光ランプ7と、U形蛍光ランプ7を覆って開口部10に設けられ、U形蛍光ランプ7からの光を透過させる拡散板3とを備え、U形蛍光ランプ7は、屈曲ガラス管部8で接続されたガラス管部1、2を有し、ガラス管部1、2に、赤色蛍光体、緑色蛍光体および青色蛍光体を含む蛍光体被膜が塗布され、各ガラス管部1、2に塗布された蛍光体被膜に含まれる赤色蛍光体の重量% R、緑色蛍光体の重量% G、および青色蛍光体の重量% Bの蛍光体比率を、蛍光体比率 $K = B / (R + G)$ 、としたときに、ガラス管部1での蛍光体比率が、ガラス管部2での蛍光体比率よりも大きく、ガラス管部1とガラス管部2とを拡散板3に垂直な方向から見て重ね合わせて配置する。

【選択図】 図1



【技術分野】

【0001】

本発明は、液晶バックライトおよび各種ディスプレイ等の光源として利用される冷陰極蛍光ランプ等を備えた照明装置に関する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ランプハウスの開口部内に収納されたU形蛍光ランプと、前記U形蛍光ランプを覆って前記ランプハウスに設けられ、前記U形蛍光ランプからの光を透過させる拡散板とを備え、前記U形蛍光ランプは、屈曲ガラス管部で接続された第1および第2ガラス管部を有し、前記第1および前記第2ガラス管部に、赤色蛍光体、緑色蛍光体お

および青色蛍光体を含む蛍光体被膜が塗布され、各ガラス管部に塗布された蛍光体被膜に含まれる赤色蛍光体の重量% R、緑色蛍光体の重量% G、および青色蛍光体の重量% Bの蛍光体比率を、蛍光体比率 $K = B / (R + G)$ 、としたときに、前記第1ガラス管部での蛍光体比率が、前記第2ガラス管部での蛍光体比率よりも大きい照明装置において、前記第1ガラス管部と前記第2ガラス管部とを前記拡散板に垂直な方向から見て重ね合わせて配置することを特徴とする照明装置。

【請求項2】

前記U形蛍光ランプを挟んで前記拡散板と対向する反射板をさらに備える請求項1に記載の照明装置。

【請求項3】

前記第1および前記第2ガラス管部の外径は、2mm以下

[続きあり]

審査請求 未請求 請求項の数4 O L

(全18頁)

(43)公開日 平成18年(2006)3月2日

(51) Int.Cl.	テ-マコード' (参)	F I	(21)特願2004-238786
G02F 1/13357 (2006.01)	2H042	G02F 1/13357	
G02B 5/02 (2006.01)	2H091	G02B 5/02	A (22)平成16年(2004)8月18日
F21S 2/00 (2006.01)		F21S 1/00	E
F21Y 101/02 (2006.01)		F21Y 101:02	

【 F タ-ム】 2H042 BA02 BA11 BA13 BA15
BA18 BA20
2H091 FA02Y FA07X FA07Z FA11X



[続きあり]

(71)出願人 ソニー株式会社 東京都品川区北品川6丁目7番35号
(72)発明者 真濱 和利 (外1名)

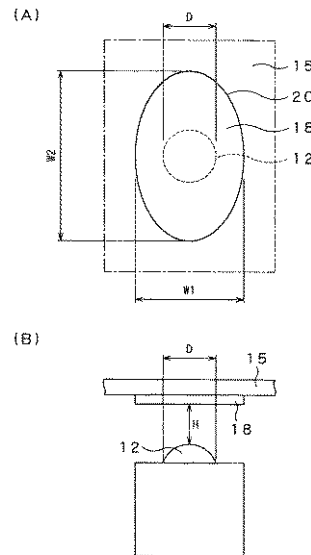
(54) 【発明の名称】 バックライト装置及び透過型液晶表示装置

(57) 【要約】

【課題】 色むらや横筋を抑制した高輝度の表示を行う。

【解決手段】 液晶パネル5と多数個のLED12を有する光源ユニット7との間に配置される光学シートブロック10に設けられ、各LED12から出射された表示光の入射を制御する透明樹脂製の光拡散プレート15を備える。光拡散プレート15に、各LED12と対向してその外径よりも大型でかつ縦長形状の調光パターン18を光反射性インクにより印刷して形成する。

【選択図】 図4



【技術分野】

【0001】

本発明は、多数個の発光ダイオードから出射した表示光を例えば透過型の液晶表示装置(LCD:Liquid Crystal Display)等の透過型表示パネルに供給するバックライト装置及びこのバックライト装置を備える透過型液晶表示装置に関する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】

透過型表示パネルと多数個の発光ダイオードを実装した複数の光源ブロックを所定の間隔を以って配列してなる光源ユニットとの間に配置され、上記各発光ダイオードから出射された表示光の一部を透過するとともに一部を

反射させることによって全面から均一化した状態で上記透過型表示パネルに供給する光拡散プレートを備え、上記光拡散プレートが、透明な樹脂材によって成形され、上記光源ブロックと対向する主面の上記各発光ダイオードと対向する各領域に光反射性インクにより印刷形成されて上記表示光を反射させる調光パターンを形成してなり、上記各調光パターンが、上記発光ダイオードの外径よりも大型でありかつ上記各光源ブロックの長さ方向の横幅に対して直交する方向の縦幅を長軸とした形状に形成されることを特徴するバックライト装置。

【請求項2】

上記各調光パターンが、多数個の調光ドットによって構成するとともに、これら調光ドットが表示光の光透過率を中央領域から周辺領域に向かって次第に大きくするよ

[続きあり]

(51) Int.Cl.	テ-マコード' (参)	F I	(21)特願2005-277578
G02B 5/02 (2006.01) 2H042		G02B 5/02 B	(22)平成17年(2005)9月26日
G02F 1/1335 (2006.01) 2H091		G02F 1/1335 520	優(31)10-2004-0078310
G02F 1/13357 (2006.01)		G02F 1/13357	先(32)平成16年(2004)10月1日
G02B 5/08 (2006.01)		G02B 5/08 A	権(33)韓国(KR)
F21V 8/00 (2006.01)		F21V 8/00 601 C	優(31)10-2004-0099383
			先(32)平成16年(2004)11月30日
			権(33)韓国(KR)
【Fターム】 2H042 BA02 BA12 BA20 DA02 DA04 DA11 DA16 DA21 DE00			

(71)出願人 三星電子株式会社
(72)発明者 韓 丙 雄 (外5名)

大韓民国京畿道水原市靈通区梅灘洞 4 1 6

【続きあり】

SAMPLE

(54)【発明の名称】光学フィルム、これを有するバックライトアセンブリ、及び表示装置

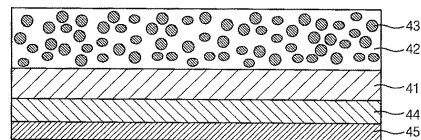
(57)【要約】

【課題】 光学フィルム、これを有するバックライトアセンブリ、及び表示装置が開示される。

【解決手段】 光学フィルムは、ベース層、樹脂層、及び中空粒子を含む。樹脂層は、ベース層の一面に形成される。中空粒子は、樹脂層に混入され形成される。これによって、ベース層上に微細な中空粒子をポリウレタン樹脂と共にコーティングさせることによって、光学フィルムの厚さを薄くし、光学フィルムの拡散性と反射性を向上させることができる。

【選択図】 図4

40



【技術分野】

【0001】

本発明は光学フィルムに関し、より詳細には、光学フィルム、これを有するバックライトアセンブリ、及び表示装置に関する。

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ベース層と、前記ベース層の一面に形成された樹脂層と、前記樹脂層に混入された中空粒子と、を含む光学フィルム。

【請求項2】

前記樹脂層は、ポリウレタン系樹脂からなることを特徴

とする請求項1記載の光学フィルム。

【請求項3】

前記中空粒子は、前記中空粒子に提供された光の波長によって決定された直径を有することを特徴とする請求項1記載の光学フィルム。

【請求項4】

前記中空粒子の直径は、 $2.9 / 2 \sim 3.1 / 2$ であり、前記は、前記中空粒子に提供された光の波長であることを特徴とする請求項1記載の光学フィルム。

【請求項5】

前記中空粒子の直径は、 $65.2 \sim 100.7$ であることを特徴とする請求項4記載の光学フィルム。

【請求項6】

前記中空粒子の表皮の厚さは、 $0.49 \sim 0.51$

【続きあり】

その他

審査請求 有 請求項の数7 O L

(全12頁)

(43)公開日 平成18年(2006)3月23日

(51)Int.Cl. テーマコード' (参) F I
G02F 1/13357 (2006.01) 2H088 G02F 1/13357
G02F 1/13 (2006.01) 2H091 G02F 1/13 505

(21)特願2005-255863

(22)平成17年(2005)9月5日
優(31)10/936521
先(32)平成16年(2004)9月9日
権(33)米国(US)

【Fターム】2H088 EA06 HA21 HA23 HA25
HA26 HA28 HA30 MA01
2H091 FA21Z FA23Z FA28Z FA29Z



[続きあり]

(71)出願人 友達光電股 ぶん 有限公司
(72)発明者 胡 至仁 (外2名)

台湾新竹市科学工業園區力行二路1号

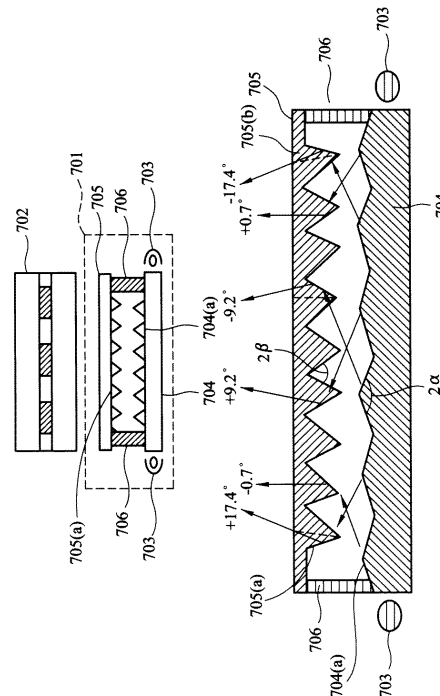
(54)【発明の名称】液晶ディスプレイ及びその表示方法

(57)【要約】

【課題】 見る者から表示面への距離に関わりなく一
致性のある最良の画像表示の要求を提供できる液晶デ
ィスプレイ装置を提供する。

【解決手段】 液晶ディスプレイ装置は、調整式バック
ライトユニット701とLCDユニット702を有する。
調整式バックライトユニット701は、光源703、
ガイドユニット704、ガイドユニットプリズムアレ
イ704(a)、プリズムレイ705(a)を有する感
光ユニット705、調整機構ユニット706を更に含む。
ここでは、拡散器、偏光器などの感光ユニット705
は、上平面705(b)を有する。ガイドユニット70
4は、ライトガイド又はウェーブライトからなること
ができ、ガイドユニット704と感光ユニット705と
の間の距離は、調整機構ユニット706によって調整
することができる。

【選択図】 図7A



【技術分野】

【0001】

本発明は、液晶ディスプレイに関し、特に、距離及び角
度を変化させたときの液晶ディスプレイ装置が表示する
2D/3Dの画像に関するものである。

【特許請求の範囲】

【請求項1】

2次元/3次元の視野が改善された液晶ディスプレイ装
置であって、液晶ディスプレイモニターユニット、及び
前記液晶ディスプレイモニターユニットの後方に設置さ
れた調節式バックライトユニットを含む液晶ディスプレ
ィ装置。

【請求項2】

調整式バックライトユニットは、

ガイドユニット、

感光ユニット、及び

前記ガイドユニットと前記感光ユニットとの間の距離を
変動させる調整機構ユニットを含む請求項1に記載の液
晶ディスプレイ装置。

【請求項3】

感光ユニットは、拡散器、パララックスユニット、集光
器、これらの組み合わせを含む請求項2に記載の液晶デ
ィスプレイ装置。

【請求項4】

ガイドユニットは、ライトガイドユニット、又は、ウェ
ーブユニットを含む請求項2に記載の液晶ディスプレイ
装置。

[続きあり]

2. 掲載特許一覧

公報番号順(昇順)

公報番号	出願人	発明(考案)名称	出願日	優先権	分類
特開2005-329696	穎台科技股▲ふん▼有限公司	直下式バックライトモジュール用光拡散板及びその製法	2004/09/01	有	製造
特開2005-332828	ルミレッズ ライティング ユーエスリミテッド ライアビリティ カンパニー	輝度プロフィール及び色均一性を改善した多色LEDアレイ	2005/05/06	有	構造
特開2005-336477	独立行政法人科学技術振興機構,チツソ株式会社	高分子とキラリティーを有する液晶材料とからなる複合材料、該複合材料の製造方法、および該複合材料を用いる光素子	2005/04/28	有	材料
特開2005-338608	株式会社 日立ディスプレイズ,株式会社日立ディスプレイデバイス	液晶表示装置	2004/05/28	無	構造
特開2005-338611	株式会社 日立ディスプレイズ,株式会社日立ディスプレイデバイス	液晶表示装置	2004/05/28	無	構造
特開2005-339842	松下電器産業株式会社	照明装置	2004/05/24	無	構造
特開2005-340750	サムソン エレクトロメカニクスカンパニーリミテッド.	LEDパッケージ及びこれ設けた液晶表示装置用バックライトアセンブリー	2004/10/22	有	構造
特開2005-345628	ソニー株式会社	バックライト装置	2004/06/01	無	構造
特開2005-347062	株式会社 日立ディスプレイズ,株式会社日立ディスプレイデバイス	バックライト装置及び液晶表示装置	2004/06/02	無	構造
特開2005-347259	エルジー, フィリップス エルシーデーカンパニー, リミテッド	バックライトアセンブリー	2005/05/31	有	構造
特開2005-352238	大日本印刷株式会社	光拡散部材	2004/06/11	無	構造
特開2005-352400	オムロン株式会社	拡散板及び面光源装置	2004/06/14	無	構造
特開2005-352427	ソニー株式会社	液晶表示装置及びバックライト装置	2004/06/14	無	構造
特開2006-002024	JSR株式会社	光拡散性樹脂組成物および拡散板	2004/06/17	無	材料
特開2006-003378	東洋インキ製造株式会社,凸版印刷株式会社	光散乱膜用組成物、およびそれを用いた光散乱膜	2004/06/15	無	材料
特開2006-003392	コニカミノルタホールディングス株式会社	散乱反射型表示体	2004/06/15	無	その他
特開2006-003506	凸版印刷株式会社	拡散フィルム、偏光素子及び液晶表示素子	2004/06/16	無	構造
特開2006-003914	サムスン エレクトロニクス カンパニー リミテッド	新規な導光板構造を有する液晶表示装置	2005/08/01	有	その他
特開2006-004645	ミネベア株式会社	面状照明装置	2004/06/15	無	構造
特開2006-004915	セイコーインスツル株式会社	照明装置およびこれを用いた表示装置	2005/04/15	有	構造
特開2006-010802	凸版印刷株式会社	拡散フィルムの作製方法、拡散フィルムおよび偏光素子	2004/06/23	無	製造
特開2006-011006	住友ベークライト株式会社	光拡散用部材および液晶ディスプレイ用バックライト	2004/06/25	無	材料
特開2006-011167	大成建設株式会社,学校法人東京理科大学	日射調整体	2004/06/28	無	構造
特開2006-011439	三星電子株式会社	光学フィルムと、これを有するバックライトアセンブリ及び液晶表示装置	2005/06/22	有	構造
特開2006-017959	カシオ計算機株式会社	内面反射型液晶表示素子	2004/06/30	無	構造
特開2006-018068	東芝松下ディスプレイテクノロジー株式会社	液晶表示装置	2004/07/02	無	構造
特開2006-018244	株式会社ユポ・コーポレーション	光反射体およびこれを用いた面光源装置	2005/05/31	有	構造